◎　体育部門

1　行事及び内容

（1）研究委員会

①第１回体育部門研究委員会（６月２０日　天草教育会館）

○事業計画

○平成２８年度研究主題について説明及び小中共通実践事項の確認

＜小中共通実践事項＞

ア　基礎的な技能や知識の定着を図り、活用させるための工夫

・基礎的な知識・技能の定着を図り、児童生徒の意欲喚起を図るためのドリルゲームの開発

・身につけた技能をゲームで活用できるようにするためのタスクゲームの開発

イ　伝え合う力を高め、体育学習に生かすための工夫

・話し合い活動を充実させるための工夫

・学習カードや作戦ボードの有効活用

○平成２８年度　天草教育研究所体育部門授業研究会にむけて

・内容及び授業者の選定

○その他

②第２回体育部門研究委員会（１１月１５日　天草教育会館）

○平成２８年度　天草教育研究所体育部門授業研究会に向けて

・大会当日の日程及び役割分担についての話し合い

③第３回体育部門研究委員会（１月２７日　苓北町立志岐小学校）

○平成２８年度　天草教育研究所体育部門授業研究会の反省

（2）事業内容

平成２８年度　天草教育研究所体育部門授業研究会（１月２７日　苓北町立志岐小学校）

○マット運動

授業者　苓北町立志岐小学校　　渕上　佑紀　教諭

2　成果と課題

本研究会の研究主題を具現化するために、指導案を作成する前に「授業に関するアンケート、レディネステスト」を実施し立案に活かした。本年度の主な活動として行った天草教育研究所体育部門授業研究会は、小学校の先生方だけでなく、会員となっている中学校の先生方も合同で研修をする場となった。研究授業の前には指導案検討会を複数回行い、小学校の研究員だけでなく中学校の研究員にも参加を呼びかけ、授業作りのアドバイスやヒントを出し合うことができた。

はじめに、５年生の段階でどこまで学習するのか、どのような単元のゴールにするのかを話し合った。今回は、「集団演技」を単元のゴールとし、児童に見通しを持たせながら学習を進めた。次に、集団演技を構成するマット運動のそれぞれの技（学習指導要領にある基本的発展的な技）についての技能ポイントを明確にし、また、それを児童がわかりやすい言葉に直して指導をした。その結果、児童がペアやグループで技能を高めていく際の見る視点になったり、教師の言葉かけや評価にも生かしたりすることができた。それから、学習シートや活動をする場、掲示物の工夫等により、学び合いの中で個人及び集団を高める授業となった。授業研究会当日も、主運動につながる準備運動からグループ練習等の活動がリンクし、本時の目標を達成するための授業展開が工夫され、子どもたち一人一人が生き生きと活動していたのが印象的だった。

今後も、これまでの研究の流れを大切にし、さらに小中連携を進めて発展させていきたい。